

長生きしてくれて ありがとう

ぐすーじさびら! 9月16日、新100歳とカジマヤー(数え年97歳)を迎える、おじいおばあのお宅を表敬訪問しました!
家族に囲まれ、笑顔でハイチーズ♪



糸数 かつ子さん(新100歳)



糸満 盛昭さん(カジマヤー)



多喜 美枝子さん(カジマヤー)



兼本 良子さん(カジマヤー)



古堅 登美子さん(カジマヤー)



9/22・23 祖先の暮らした地域で交流深める

市で受け入れている、ペルー研修生の高群 儀武 ヒメナさん(屋富祖出身4世)と、ブラジル研修生の當間 ペアトリス マユミさん(沢岬出身3世)が、自分たちのルーツにあたる屋富祖自治会と沢岬自治会の敬老会に、特別参加しました。

2人は「自分のルーツを学び、皆さんと話せる機会をとても嬉しく思います」と思いを語り、参加者と一緒に歌や踊りを楽しみました。沢岬自治会の當間会長は「遠くから会いに来てくれたことに感謝している。今後も沖縄とのつながりを忘れずにいてほしい」と話し、研修生たちにとって、祖先がかつて暮らしていた地域の人々と絆を深める貴重な経験となりました。



9/25 日本大会に向け、意気込み語る

人生にstoryを持つ人々の生き方の祭典「Mrs and Mr of the year」沖縄大会の受賞者で、11月3日・4日に開催される日本大会に出場する4人が市長を表敬しました。

浦添出身や在住など浦添と縁のある4人は、岡村泰成さん(右)がMrグラスias部門で準グランプリ&ベストスマイル賞の2冠を受賞、Mrsプレシヤス部門で比嘉勤子さん(左から2番目)がグランプリ、辻野百々代さん(右から2番目)が特別賞、Mrsプリリアント部門で久本久美子さん(左)が準グランプリをそれぞれ受賞しました。浦添市で飲食店を運営している比嘉さんは「日本大会では、子どもの貧困問題や学校に行けない子どもたちの助けになるよう、スピーチで思いを伝えたい」と意気込みを語りました。



8/27・28 パラオのアイライ州と共に豊かな環境づくりを

浦添市は環境基本計画の基本目標のひとつである「豊かな環境を次世代につなぐための地球環境の保全」を念頭に、環境省の委託事業に沖縄電力グループと共に取り組んでいます。

この事業を起点に、パラオ共和国アイライ州と地域環境保全に向けた協力に関する覚書を、8月27日に現地で開かれた式典にて締結しました。松本市長は「共に事業に参加している沖縄電力をはじめとする日本の知見やノウハウを生かし、アイライ州の皆さまと連携していけることは、これからの両国の発展において大事な役割となることを確信しております」と話し、今後も協力関係を継続していく約束を交わしました。



9/20 タオルでポケフェスを盛り上げる!

「てだこポケットフェスタ〜第47回浦添てだこまつり〜」の開催に向け、専修学校インターナショナルデザインアカデミーの学生がタオルのデザインを考え、「ポケフェスタタオルデザイン総選挙」と題し、WEB投票を行いました。今年は、24作品がエントリーされ、その中から上原優衣さん(左)と賀数琉愛さん(右)のデザインが見事選ばれ、商品化されました。

制作にあたり、上原さんは「ポケットの中にてだこまつりを詰め込み、まつりらしく楽しげでポップなデザインにした」ことや、賀数さんは「国立劇場おきなわのモチーフをメインに考え、アクセントとして花火を取り入れた」ことなど、制作過程での楽しさや難しさを話し、松本市長は「この爽やかなタオルでPRし、まつりを盛り上げてほしい」と話しました。

話題がいっぱい!
なかゆくい
市内各地で行われたイベントや、まちの話題をお届けします。ここで“なかゆくい”しませんか。(なかゆくい=ひと休み)
市ホームページ「うらそえトピックス」にも市内のできごとを紹介しています。



9/19 9年ぶりの全国制覇で、てだこ市民賞受賞

8月4日に京都府で行われた「第37回全国小学生ハンドボール大会」で見事優勝し、全国制覇を成し遂げた神森ハンドボールクラブが、第61号となる輝くてだこ市民賞を受賞しました。

コーチの池田さんは「京都までの移動で疲労困憊の中、一戦一戦、日頃の練習の成果を出し切っていた。チームのスローガンである『守って速攻』をやり尽くし、決勝の山場を勝ち抜くことができた」と選手らを称え、キャプテンの池田さんは「一人一人、高い意識を持って試合に挑めた。ミスをして、お互いに励まし合うところが勝利に繋がった」と試合を振り返りました。